

ピースコンサート

● 玉城ちはるを始め5つのアーティストにより、歌を届けました

今初めて東京から参加してくださった半崎美子さんからはじまったピースコンサート。涙を流しながら聞いてくださる方もたくさんいらっしゃいました。また、今年で出演が二回目になりますmebiusさん、Free Faceさんも会場を盛り上げてくださいました。みなそれぞれに思う平和への想いを語ってくださる中、軽々しく、でも重苦しくなく音楽という言葉で身近なそれでいて当たり前の幸せをあらためて、大切なのだと気づかせてくれる素敵なステージの数々でした。



左上:mebius 右上:玉城ちはる
左下:FreeFace 右下:半崎美子



● 有森裕子さんとのトークショー

トークショーでは有森裕子さんが「8月6日に平和の事を思い原爆の日について考える活動に参加するということは今回が初めてなんです。こういったイベントに参加できることをうれしくおもいます。広島を走るのも今回が初めてなので、非常に私にとっても記念日なんです。ありがとうございました」といってくださいました。



ピースメッセージ

2009年からイベント出演者だけでなく、たくさんの方の「平和への想い」を全国各地、世界中からメッセージとして集めてきました。目標枚数をヒロシマ8月6日(4086)とナガサキ8月9日(3989)にちなんで8075枚とし2011年のイベント終了時点で

5268枚!!

今年からはtwitterなども運動し、みなさんの言葉達をイベントでテーマソングとして歌詞にもいかしていただきました。

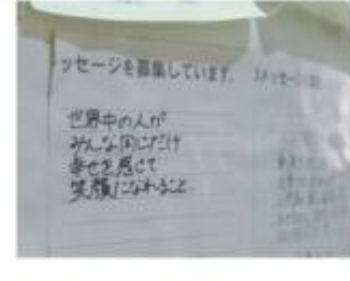
今回のイベントでは若い世代からのメッセージも多く頂きました。



● こんな方々からもメッセージをいただきました!

何気ない日常がそこにあること、いつも当たり前な状態であること。それが平和である私も思います。しかし、その平和を守るということは、決して簡単なことではありません。私たちのまわりには、いつ何時その平和を崩す事件や事故・災害が起こるかわかりません。それが人によるものであるならば、皆が思いを一つにして共に行動することで、防げる可能性があります。そしてその可能性を追求し続けなければなりません。それが自然の力によるものであるならば、私たちはその災難を乗り越える力を持たなければなりません。一人ではく皆が一緒になって力を持たなければなりません。「Each feelings 2011」は、こんなことを願い、また考えながら参加するイベントであってほしいのです。
(広島市長 松井一貴)

明日のことを微笑みながら考えられる、そんな平和がすべての人にありますように。
(庄野真代)



みなさんそれぞれの平和への想いを綴っていただき改めて感じる事が多くありました。ご協力本当にありがとうございました。each feelings実行委員会スタッフ一同

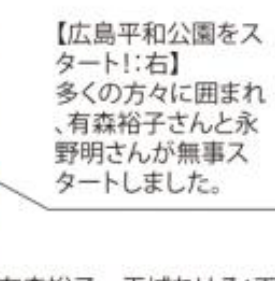
ピースラン

● 広島～長崎間約450kmを完走

スタート地点である広島の平和公園原爆ドーム前には朝6時という早い時間にも関わらず、たくさんの方が駆けつけてくださり、出発時刻の7時には本当にたくさんの方が一緒にスタートのカウントダウンをしてくださいました。最初の11キロを走ってくださった有森裕子さんからタスキを五日市で受け取った玉城ちはるも人生初めてのマラソンということでしたが、予定時刻よりも早めに目標地点に到着し、ハンドサイクルアスリートの永野明さんへとタスキをすげました。長崎駅までの約400キロ以上を永野明さん、〇〇さんで交代ではしり、無事9日長崎駅で玉城ちはるさんと合流し最後はみなさんで長崎の平和公園にゴールいたしました。



【広島市街地】多くの皆さんに囲まれ、有森裕子さんと永野明さんが無事スタートしました。



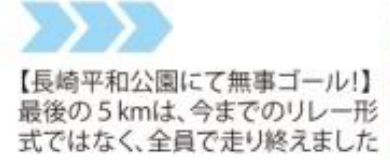
【有森裕子→玉城ちはる:下】五日市のマツダにてタスキが繋がりました。



【歌手の玉城ちはるも走る:下】



【広島～長崎】



【長崎平和公園にて無事ゴール】最後の5kmは、今までのリレー形式ではなく、全員で走り終えました



【長崎平和公園にて無事ゴール】最後の5kmは、今までのリレー形式ではなく、全員で走り終えました

Each feelings 2011 参加支援団体/協賛企業

スタディツアー

広島市立大学で、平和という共通の願いを持った smile smile(以下、S2)という学生団体が開催するスタディツアーと協力しています。

広島を拠点とするS2を、東京で行っているeach feelings tokyoに招き、8月6日の広島を知る、学ぶ、経験するスタディツアーへの参加を呼びかけられました。スタディツアーは、1人でも多くの人達に平和について考えてもらう機会となることを目的とし、被爆者との対談や平和資料館への訪問などを用意しています。

東京での呼びかけに答えて下さった、多くのスタディツアー参加者のみなさんから8月6日の広島をみて、感じて、「平和とは?」と考え、感想も寄せていただきました。



★Each feelings tokyoとは・・・p8参照
広島に来た事がない方々に、一度でもいっから8月6日の広島を一人でも多くの人に知ってほしい。見てほしいと想い、2011年からeach feelings のピースコンサートで東京で開催しています。2011年では、隔月で行い、each feelings の活動を広めています。

【左:ツアー参加者、原爆ドームにて】

● ツアー参加者から感想をいただいています!

平和祈念式典や被爆者体験聴講、平和公園散策など広島の街をめぐって、「広島という街全体が「平和」を常に訴えていることを強く感じました。8月6日という世界的に注目される時期だからだったのかもかもしれませんが、こんなにも市民が「平和」を発信している街はどこに行ってもないだろうかと、非常に感銘を受けました。「平和のために何ができるか」という問いに対して深く考えれば考えるほど自分の中で迷い入ってしまうほどですが、今回学んだ多くのことを自分でもできる多くの人に伝え発信し、「平和」についてもっともっと考えてみようと思います。
(野村裕介)

私の住んでいる関東では、あまり8月6日のことは話には出ません。やはり広島から少し遠い地域は8月6日についてあまり関心がないように思えます。これからの世界を平和へと繋げていくには、まず一つ一つの物事について「知ること」。知ったうえで、どうすればいいかを考えることから始めるべきだと思います。そのためには、このツアーのように、一人一人が平和について本気で考えることが出来る場所をつくるのが大切なのだと思います。
(安本翔太)

「心」cocoro project

三谷芳広さんが代表を務める「心」cocoro project。玉城ちはるはそのサポートリーダーとして、協力しています。このプロジェクトで販売しているcocoro ステッカーやTシャツなどの売り上げの一部をeach feelingsとして寄付していただいています。また、雑誌「iemado」にご協力いただき、each feelingsの活動を記事にさせていただきました。



↑当日Cocoro projectのブース

←each feelings が紹介された「iemado」の雑誌とその記事(2011年特別号)

「心」cocoro projectの理念

震災の、あの時の気持ちを「心」Cocoroに託らせ、今、生きている事に感謝をして、精一杯生きながら、被災地の人たちを応援していこう。助け合いの「心」Cocoroで動かし合い、認め合い、みんなの「心」Cocoroを繋いでいこう。被災地にお金や物資を送り続ける事は、私たち普通の家庭には、痛みがともないです。でも、「被災地を、なかく応援し続けよう」という、メッセージを発信するだけならどう?

Project NOW!

広島・長崎の若手クリエイターたちで、核兵器廃絶のガイドブックのартブックをつくり、発信していくプロジェクトです。each feelings イベント当日には、その本を販売していただき、その一部がeach feelings 基金に寄付されました。each feelings 実行委員会の委員でもある安彦恵里香が、このプロジェクトの事務局長を務めています。



核兵器廃絶のартブック

キャンパスジェネレーション

each feelings では次世代の若い学生達とも一緒に平和をかんがえていきたいという想いの中、広島の学生達との架け橋にキャンパスジェネレーション(以下、キャンジェネ)が協力してくれました。当日は、ステージ運営業務やお手伝いいただき、イベントの成功を支えてくれました。



ボックスひろしま

当日開いた一箱古本市の売り上げの一部がeach feelings 基金に寄付されました。each feelings 実行委員会の委員でもある財津正人は、ボックスひろしまの代表を務めています。



共催 国際協力機構 JICA中国

「each feelings 2011」は国際協力機構JICAによって実施されている「なんとかしなきゃ!」プロジェクトとの共催によるものです。今回、JICA中国のスタッフの方々にも、当日も含めて協力いただきました。



←代表である玉城ちはるは、このプロジェクトに賛同し、そのメンバーとして選出されています。他にも黒柳徹子さん、王貞治さんなどの多くの著名人名を連ねています。URL: http://nantokashinakya.jp/

● その他、多くの方々、企業様がEachfeeling2011に協賛していただきました。

協賛企業一覧

協賛企業一覧

西條商事株式会社
大興グループ
株式会社アローバ
フレスタモールカジナルテナント会社
株式会社広島サンティ
株式会社シティガス広島
有限会社ジュークジョイント
株式会社タガワ
株式会社サンティ
ファイテン株式会社
広島駅前開発株式会社
株式会社 健康クリニック サンヨ
株式会社 ビンク
サウンドオフィスクロスロード
株式会社 感性舎
株式会社イーセット
山田 利博子 (元三次市長)
瀧本 壽博
山陽空調工業株式会社
株式会社熊谷組 中四国支店
株式会社原田

Rio

リジョー株式会社では、協賛金に加え、8月6日イベント当日に無料のeach feelingのうち500枚の配布、広島カープ水の販売等の公演を行っていただき、イベントの成功を支えていただきました。

(以上25企業、順不同敬称略)

● ボランティアの皆様へ

each feelings 2011では、ボランティアの皆様にも、あたたかいご支援、ご協力をいただきました。誠にありがとうございました。なお、イベント当日においても、設営から参加呼びかけなど陰ながらイベントの成功を支えてくれた下記の方々には深く、感謝しております。

- 中嶋裕子、あすかさん
- 大谷洋一さん
- 和田秀也さん
- 児玉真奈美さん
- 碓智亮さん
- 山下大貴さん
- 佐々木誠さん
- 松川幸太さん

Each feelings tokyo

Each feelings tokyo は、今まで「広島の中から発信してきた原爆の事」、東京から何気ない日常を奪う原爆の恐ろしさとその「ひだまり」のような幸せの大切さを「肩肘張らずに、身の回りから平和を考えてみよう」とハセガワミヤコと玉城ちはるが届けたいイベントです。



each feelings tokyo メンバー
一番左:gt.菅大介 一番右:per.入倉リョウ

● Each feelings tokyoへ参加にあたって

大きな意味での平和につながる小さな一歩は、決して難しいことでも大げさなこともなく、身近な人や物ごとをシンプルに、ただ大事にすることで、そして自分以外の誰かの幸せをほんのちよっと願うことができれば、それは平和への扉を開いたことになると思うのです。その扉は機重にも重なり、厚く重いものもあるかも知れませんが、でも私は諦めず、この一歩を踏み出すことを恐れずにいたいと思います。そして、足を運んで下さった方が、何かを感じるきっかけになるような音を支える事がわたしにできる最初の一歩だと信じています。

● Each feelings tokyo 2011.05.13「ひだまり」

ゲストの庄野真代さんご自身の平和活動やさまざまな支援活動のお話だけでなくそういった活動の継続する難しさやその意味についてたくさんのお話をしてくださいました。



● Each feelings tokyo 2011.07.08「出会い」

ゲストのカケラバンクさん、家族や友人と忘れがちな大切なテーマに曲をつられることもおおく、それがちな大切なものそして、平和という事についてミュージシャンだから出来ることなどお話をしてくださいました。



● Each feelings tokyo 2011.09.09「忘れ物」

ゲストのharcoさん グリーンエネルギーレーコーディングについてのお話だけでなくこれからの自然エネルギーにたいすご自身の想いやecolに関するお話など日々の生活のなかでしていることなどお話をありがとうございました。



Each feelings in 東北

each feelings では東日本大震災を受け、被災地支援の取組を行っています。実行委員会ではeach feelings 基金を開発し、イベントにおいては2011年会場に募金箱を設置させていただきます。また、チャリティコンサートの収益金はこの基金に当てられており、被災地支援の活動資金とさせていただきます。

● 2011.05.09 東日本大震災チャリティコンサート

広島で行ったチャリティコンサートで約20万円義援金をお預かりしました。また、被災地の子ども達に向けた、100冊以上の絵本が集まりました。

- チケット収益金 154,000円
- 募金箱への義援金 38,817円
- 合計 192,817円



● 2011.05.17 宮城県仙台市「太白ありのまま舎」チャリティコンサート

重度障害者・難病ホスピスの療護施設である太白ありのまま舎。津波の直接的な被害はありませんでしたが、心に不安やストレスなどを感じる方も多く、歌いに来ていただくと依頼でチャリティコンサートを行いました。



● 2011.05.23 岩手県釜石市上栗林避難所訪問

釜石市の鶏住居や片岸地区で被災された方々が避難されている上栗林集会所にて炊き出しなどの支援活動を行いました。9月中旬にも再度訪問し、継続的な支援活動を行っていく予定です。



● 雑誌や新聞などメディアに取り上げられました!



Each feelings 団体概要

団体名 Each feelings 実行委員会
設立 2009年
所在地 東京都
URL http://eachfeelings.com/
組織 代表 玉城ちはる
副代表 堤城一

Each Feelings Hiroshima

事務局代表 橋本良太
事務局adv. 安彦恵里香
広報担当 和田菜水子
広報adv. 中牟田康
映像担当 阪口賢二

Each Feelings Tokyo

事務局代表 土橋一夫(有限会社ジュークジョイント)
広報担当 坂瀬夫(有限会社シャイランス)
広報担当 財津正人(株式会社イーセット)
会計担当 成瀬 勇(株式会社レヴァンセ)
メンバー
財津正人(プロジェクトロジック)
三谷芳広(cocoro project)
高野五輪夫(株式会社インプロビック)

応援・協賛していただける団体を探しています!

「Each feelings」プロジェクトでは、このイベントに関して賛同して下さる皆様からのご協力、ご支援、協賛金を募集しております。ボランティアとしてのご協力やご支援、物資のご提供、企業や団体としてのご協力、ご協賛など、広く募集しております。本プロジェクトにご理解を請い、皆様からのご支援を心からお願い申し上げます。

☆お問い合わせ先☆
 ■「Each feelings」東京事務局 TEL 03-6273-7151
 (有限会社ジュークジョイント)内 担当 坂野 瑛 E-mail torus@eachfeelings.com
 ■株式会社レヴァンセ TEL 03-6304-7151
 担当 成瀬 E-mail naruse@eachfeelings.com
 ☆協賛金の協力は下記の指定口座にお振込みをお願いします☆
 金額 協賛 一口: ¥10,000 (何口でも可)
 銀行名 三井住友銀行 世田谷支店 口座番号 普通預金5564976
 名義人 Eachfeelings事務局 代表 玉城ちはる